だ本の中でよかったものを紹 きた本や好きな本を聞いて好み 作っていくために、 きっかけ、 や読む力は様々です。 を読むことも読書と言えます。 スポーツや芸術などに関する本 子どもによって興味をもつ本 でしょうか。 子どものこれまで読んで 自身がこれまで読 本と触れ合う機会を 図鑑、 まわりの大 本を読む 好きな

にし、人生をより深く生きる力 のできないものです。 を身に着けていく上で欠くこと 力を高め、 知識を得て、 読書は、子どもが言葉を学び 創造力を豊かなもの 感性を磨き、表現

定せず、 どの取り どもの読書活動を推進するため とも大切です。 においても様々な工夫をしてい 員会の活動 いきます。 市内の各小・中学校でも、 一方で、子どもの選ぶ本を否 選書や配架、 次第に読む本の幅が広がっ 自主性も認めていくこ など、 子どもたちの図書委 読む数が増えた コロナ禍の中 読み聞かせな

で実

施

したアンケー

トによる

う子どもは小学6年生で 平日に読書を全くしない

中学3年生で49%に上り

今年6月に市内全小・中学校

各中学校に週2回、 また、市内の学校図書館には

読書というと、

小

説

ゃ

.ージを持つ人も多いのでは

クションなどを読むという

門家である学校司書から、 もに合った本を薦めてもらうこ 学校図書館や読書の専 学校司書が派遣されて 各小学校に 子ど

います。 週

Ó

学校園紹介





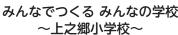
読書のすすめ」のすすめ



問合先

学校教育課

がずみさの育



とも可能です。

を中心にした2週間の10月27日

今年も、文化の日

(11月3日)

11月9日に読書週間が行われ

)ようか。

緒に読書をするのはいかがで

秋の夜長に、

大人も子どもも

上之郷小学校は、自分たちの学 校を自分たちでつくっていこうと いう気風にあふれています。

その成果が認められて、昨年度 末には、「こころの再生」府民運動 で大阪府から表彰を受けました。 その活動は今年度「しあわせの木



プロジェクト」として引き継がれました。

今年度も感染症対策のため、予定 されていたいくつかの行事が中止さ れています。そんな中、児童会の役 員さんたちは、全校のみんなが参加 できて、笑顔になれる活動を考え、 「しあわせの木プロジェクト」を実 現しました。

これは、全校のみんなに葉っぱの 形をしたカードを配布し、メッセー

ジを書いてもらい、木を作る活動です。「コロナがお ちついたら、いろんなところに行きたい」「修学旅行 に行けますように」「医者になって、いろんな命を守る」 などすてきなメッセージが寄せられました。

どんな状況の中にあっても、 自分たちの学校は自分たちで 楽しくするという気持ちが集 まる「みんなの学校」、それが わたしたち上之郷小学校です。



地域と共に学ぶ ~大木小学校~

大木小学校では、地域の環境を生かした体験学習を 行っています。どの活動も多くの人に協力していただ くことで、行うことができています。

【**ワラビ採り**】大木には、ワラビ が自生している場所があり、そ こで毎年全校児童でワラビ採り を行っています。子どもたちは、 食べられるワラビを見分けなが ら採り、採ったワラビはあく抜 きをして、ワラビご飯などにし て食べています。





【川たんけん】大木小学校のすぐ 近くを流れている川で年2回、川 の生き物を観察する活動を行っ ています。現在、川たんけんで 見つかったシマヨシノボリやド ジョウを小学校で飼っています。

【大木たんけん】1~6年生の縦割り班で、大木地区の 史跡や自然を見て回る活動を行っています。大木地区 は日本遺産にもなっており、その歴史にふれたり、大 木の自然を感じながら歩いたりして、大木について学 んでいます。

これらの他にも「春みつけ」 や「サツマイモ植え」「ジャガ イモ掘り」「田植え体験」など、 多くの活動を地域のみなさんの 協力のもと行っています。

